

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 5/2 第5号

学校教育目標 「自らの未来を切り拓く、心豊かな生徒を育成する」

春季総合体育大会開会式

4月29日(土)「昭和の日」に西京極陸上競技場で春季総合体育大会開会式が盛大に開催されました。全市の中学校から7000名を超える選手が一堂に会し、入場行進から開会式が始まりました。本校からも100名を超える各クラブの選手が、胸を張り力強く入場行進を行いました。行進練習の成果を発揮して、「双ヶ丘中」のプラカードを生徒会副会長が持ち、生徒会長が生徒会旗を掲げ、プラカードと生徒会旗を先頭に堂々の行進でした。見ていて感動を覚えました。

そして、開会式の最後を飾る選手宣誓は、本校のバレーボール部主将と凌風中学校の男子バレーボール部主将の2人で行ってくれました。

宣誓

晴天に恵まれ、スポーツをするには絶好の季節となりました。

仲間達とともに励まし合い、充実した日々をおくり、今日という日を迎えることができました。

しかし、この当たり前の充実した日々をおくることのできない人達があります。

1年前のこの時期、熊本県を中心とした大きな地震が起きました。

たくさんの犠牲者がでたとともに、1年たった今でも復興が進まず、当たり前の日常を過ごすことができずに、苦しくつらい毎日を送っている人達がたくさんいます。スポーツは夢や希望を与えます。

今、私たちにできることは、被災された方々の気持ちを考え、行動することです。そして、スポーツができる環境に恵まれていることに感謝をし、精一杯、競技に取り組むことだと思います。

日本はひとつです。ここ京都市から、私たちが精一杯競技に取り組み、元気や勇気、夢や希望を発信していきます。

それを、被災地に届けたい、そして、3年後に開催される東京オリンピックに届けたいです。

私たちを支え励まし指導してくださったすべての方々やスポーツが出来る環境に恵まれていることに感謝し、誠心誠意を尽くし、最後まで全力でプレーすることを誓います。

平成29年 4月29日

選手代表 京都市立凌風中学校主将
京都市立双ヶ丘中学校主将

地震による被災地の方々へ思いをはせ、自分たちを支えてもらっている方々への感謝を表現したすばらしい宣誓でした。

開会式終了後は、参加した選手全員で記念写真を撮り、試合でのお互いの健闘を誓いました。

試合の結果は、次号に掲載したいと考えています。

